

2020年2月 刊行

# これからの工務店経営と SDGs(持続可能な開発目標)



発行 一般財団法人日本建築センター  
編集 建築関連産業とSDGs編集委員会  
価格 本体 2,500 円 + 税  
体裁 A5判 190 頁  
ISBN 978-4-88910-181-2  
発行日 2020年2月1日

## 目次

はじめに

本書の読み方ガイド

序章 工務店にとってのSDGsとは

序-1. 国連 2030 アジェンダとSDGs:

人類と地球の繁栄のための行動計画

序-2. SDGsに係わる国、自治体、産業界、市民・消費者に  
おける動向: 変革に向けたうねり

1章 工務店はなぜSDGsに取り組むべきなのか  
ビジネスチャンスをとらえよう

1-1. 工務店に押し寄せる経営環境の変化

SDGs導入の背景とは

1-2. SDGs導入の様々なメリット

工務店・施主・社会にもたらせるメリット

1-3. これからの工務店に期待される役割

次世代により良い社会資産を引き継ぐには

2章 いかにしてSDGsに取り組むか

2-1. ステップ1: SDGsの理解の浸透

2-2. ステップ2: 過去の取組の振り返りと経営課題の  
洗い出し(後づけマッピング)

2-3. ステップ3: 経営ビジョンと優先的取組事項の設定  
(先づけマッピング)

2-4. ステップ4: 経営計画の策定と実行

2-5. ステップ5: フォローアップと情報発信

2-6. さらなる取組の深化に向けて

参考資料1. 事例集: 工務店が取り組むSDGsの実施事例

参考資料2. ステップ2: 後づけマッピングの事例 工務店各社が  
ホームページに記載している活動内容の事例

参考資料3. ステップ3: 先づけマッピングの事例 工務店各社が  
アンケートで今後取り組むと回答した活動内容

参考資料4. ステップ4: 指標設定の事例 取り組み状況を測る  
ための指標の例

「はじめに」から一部抜粋

- ・工務店業界は現在様々の課題に直面している。例えば、人口減少と人手不足、建築ストックの高齢化と新築需要の減少、(中略) 直面する課題の解決と新たな経営環境への対応という意味で、工務店業界は体質改善の必要性に迫られている。工務店業界の活性化は地方創生のためにも必須であり、この時点においてSDGsという社会改革を目指す新たなツールの導入により業界の体質改善を図ることは適切な取組であると考えます。
- ・本書が住宅供給に参画する地域の工務店、施主、地方自治体、建築関連産業、金融機関等のステークホルダーのコミュニケーションツールとして活用され、工務店を含む地域社会の活性化に貢献することができれば望外の幸せであると考えます。

全国の書店、Amazon で取扱い・販売  
日本建築センター (<https://www.bcj.or.jp>)でも販売  
お問い合わせ: 一般財団法人日本建築センター 情報事業部  
東京都千代田区神田錦町 1-9 TEL 03-5283-0478